

学校だより

明るく 元気に たくましく

平成23年1月24日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-245-0304

FAX 082-245-0349

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



市立高等学校総合文化祭でステージ発表する
高等部第2学年5・6・7・8組

□ 年頭に当たって

新年を迎え、皆様には益々御健勝のことと存じます。今年卯年ですが、「卯」の語源には、「茂（ぼう、しげる）」の意味があると言われております。昨年しっかりと固められた地面に、若葉が茂る年にしたいものだと考えています。そのために最大限努力していきたいことは、「授業づくり」です。児童生徒の実態に応じた適切な指導と必要な支援を行い、児童生徒の力を最大限引き出していく取組です。この取組を通じて、小学部・中学部・高等部12年間を見通し、一貫した教育の創造を求めていきたいと考えています。

さて、建替についてですが、平成22年12月6日付で、本校の立地を含む宇品・出島地区の港湾計画の変更が無事に公示されました。また、市議会において、本校建替に係る工事請負契約の契約締結議案及び本校用地に係る財産の取得議案も可決されました。いよいよ、建替工事に着手することとなります。広島市教育委員会を始め、関係者の皆様方の御尽力のお陰と心より感謝申し上げます。

そして、今年、移転・開校の前年となります。この一年間の取組如何によって、本校の将来が大きく左右されるといふ緊張感をもちながら、全教職員一丸となって教育活動の充実に向けて努力してまいります。本年も引き続き御理解、御協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



□ 専門性の向上を目指して

昨年末の12月27日（月）に、広島県民文化センターで、県内から466名、本校からも64名が参加し、広島県特別支援学校教育研究会が開催されました。



研究発表する金本教諭

本県の研究推進スタッフによる3本の研究発表及び指導講話に加え、今年度は自主的に2校が研究発表を行いました。研究推進スタッフには、本校の金本裕史教諭が参加しており、「特別支援学校におけるキャリア教育の実践」という研究テーマで、研究グループを代表して、研究発表を行いました。『「付けたいキャリア一覧表」を活用し、「キャリア学習指導略案」を基に授業を行うと、目標が明確になり、小中高を通して一貫性・系統性のある授業ができる。』という研究仮説を買い物に関する学習に注目し検証したものです。現在、職業教育の充実を図ることは重要な課題です。広島県教育委員会特別支援教育課指導主事 坂本幸司先生の指導講話にもありましたが、授業で付ける力を明確にして、個々の児童生徒に、具体的・段階的な目標設定を行い、着実に力を付けていくことの大切さを再認識した次第です。

また、「子どもが分かって動ける授業づくり」という演題で、筑波大学特別支援教育研究センター教授 藤原義博先生の御講演を拝聴いたしました。人的支援が適確であるのか、環境的支援が十分なのか、個のニーズに応じた支援が十分なのか、私たち教師は自らこれらの支援方法に関して謙虚に見直し、子どもが分かって動ける授業づくりを目指していきたいものだと、強く共感いたしました。

□ 特別支援教育支援機器製作研修会、冬期教育相談会

昨年末の12月24日（金）に、本校の情報教育部主催の特別支援教育支援機器製作研修会を開催しました。この研修会には、小学校や中学校の先生も参加いただき、特に肢体不自由の児童生徒等に活用されている支援機器の一つであるリレースイッチ（日常使っている電化製品を外部スイッチに接続してON-OFFできる装置）を製作しました。「各班ごとに指導者が付いて丁寧に指導してもらったので大変良かった。」等の声を寄せていただきました。

12月28日（火）には、地域支援部が主催の冬期教育相談会を実施いたしました。夏期教育相談会に続き、今年度2回目です。小学校から5件、中学校から1件の相談がありました。来談者の方からは、「児童の実態から、現時点のことだけでなく、将来のことを含めて支援策を提供していただき、大変勉強になった。」等の感想をいただきました。

これらの取組は、本校のセンター的機能として実施しています。今後更にこれらの機能を高め、充実していきたいと考えています。



特別支援教育支援機器製作研修会

□ 3学期始業式

1月7日(月)、3学期始業式を行いました。



この度の始業式での私の話は、フラッシュを使って視覚支援を行いながら、学校の移転(引越し)について話をしました。いつ、どこへ、どんな学校に引越しをするのか、児童生徒に今の時期から見通しや期待感をもたせたいと考えたからです。児童生徒の表情を見ていますと、とてもよく私の話を聞いてくれていました。これから造成工事が始まりますが、現地に校外学習に出かける等の学習も計画に組み入れると、より実感できるようになるのではないかと考えています。

□ 生徒会選挙

生徒会長と副会長にそれぞれ3名の生徒が立候補して行われた生徒会選挙。1月13日(木)には、立会演説放送と投票が行われました。生徒会長には高等部2年7組の濱田詩織さんが、副会長には高等部1年2組の坂口宏友君が決まり、14日(金)の学部集会で、委任状が手渡されました。濱田さんは、副会長に続いての大役となります。坂口君と力を合わせて、濱田さんの目標である「挨拶ができて、笑顔があふれる学校」にしていただきます。高等部3年4組の伊藤翔平君、これまで立派に生徒会長を務めてくれました。本当にありがとうございました。



選挙管理委員の高3青木さんと岡本さんの見守るなかで一票を投じる高3の木原さん



挨拶をする濱田さん



委任状を受け取る坂口君

□ 作品展示会等

昨年の12月から今年の1月にかけて、市役所市民ロビー作品展示(小学部)や市立高等学校総合文化祭、発達障害者ふれあい作品展などが開催され、本校児童生徒の作品を多くの方々に観ていただくことができました。また、市立高等学校総合文化祭では、高等部第2学年5・6・7・8組の生徒が、ステージ発表の部では初めて合唱を発表しました。

現在、市役所市民ロビーでは、高等部の生徒の作品を1月31日(月)まで展示しておりますし、1月27日(金)から29日(日)まで、アステールプラザでアート&パズルが開催されます。お近くにお寄りの際には、是非御覧いただくと幸いです。「多くの方々が集まって、本校の児童生徒の作品を観てくださっていて大変うれしかった。」「一つ一つが心温まる作品だった。」「習字なども含めて、いろいろなジャンルの作品を多く展示してほしい。」「ステージ発表で堂々と歌う生徒の姿に心から感動した。」等の声をお寄せいただいております。これからも、機会あるごとに、積極的に参加することで児童生徒の自信に繋げ、また本校取組の啓発を行っていきたく考えています。



市役所市民ロビー作品展



発達障害者ふれあい作品展



市立高等学校総合文化祭

□ お知らせ

- 1月14日(日)に、第8回広島県障害者技能大会(ひろしまアビリンピック)が、広島障害者職業能力開発校で開催されました。喫茶サービスの種目に、高等部2年7組の馬本郷平君が選手として出場しました。特別支援学校からは唯一彼一人で、しかも最年少の出場だったにもかかわらず、競技後の新聞記者のインタビューに応じ、「緊張したが、スムーズに対応できた。」と笑顔で話していたそうです。馬本郷平君、よく頑張りました。
- 平成22年度学校経営計画に関する保護者アンケートに御協力いただきましてありがとうございました。頂戴いたしました貴重な御意見を真摯に受け止め、より充実した学校経営に努めてまいります。
- 現在、新しい校章(図案)を募集中です。応募締め切りを2月28日(月)まで延長しております。たくさんの御応募をお待ちしています!!